

大島海洋国際高校の学校理念などの検討

- ・第一回での議論を基に、以下の方向性を考慮し、この先の学校教育の普遍的な教育理念を策定
- ・教育理念を端的に示し、学校をアピールする際のスローガンを策定
- ・教育理念に基づき、その実現を目指すための具体的な教育目標を、これまでの「取組のための基本的な考え方」「学校像」「育てたい生徒像」「教育理念」などを踏まえつつ、検討委員会の議論を基に策定

理念等の整理に向けた五つの方向性(これまでの議論)

- ・国の海洋政策、都の海洋施策に資する人材を育成
- ・学習指導要領の趣旨を踏まえた学校づくり(アクティブラーニング、カリキュラムマネジメントの視点)
- ・海、実習船、寄宿舎という特長を活用した学校づくり
- ・学校での活動と寄宿舎での活動をリンクさせた取組の推進
- ・学校(教員、職員、船員)、保護者、地域、産業、大学、行政などが連携して教育を実践

教育理念などの案

教育理念 (案)	<p>【教育理念】 海洋環境、海洋資源の保全と活用への高い意識と実践力を育成することで、海洋に関する地球規模での課題に果敢に取り組み解決していく、国際的に活躍する海洋人材を育成する。</p>
スローガン	<p>「海を通して世界を知る」(教育理念を端的に示したもの。海洋教育を通して国際的に通用する海洋人材を育成するという趣旨)</p>
教育目標 (案)	<ul style="list-style-type: none"> ・海洋教育と寄宿舎教育を通して、自然に対する「謙虚さ」「勇気・決断力」を養い、「誠実・礼節・協力」の精神を育て、自律した責任感ある人格の形成を目指す ・海洋という自然、実習船「大島丸」、寄宿舎といった大島海洋国際高校ならではの魅力と特長を、最大限に活用した教育を実践する ・地域、産業、大学等と連携することで、海洋に関する多様で幅広い内容について課題探究的な教育を実践する ・学校教育と寄宿舎教育が連携し、学力の定着・向上を図るとともに、思考力・判断力・表現力を養う ・カリキュラム・マネジメントにより、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な学びを推進する